

広島経済レポート

1951年創刊 おかげさまで創業70周年を迎えました

11月5日号

毎週木曜日発行

月間購読料2,090円
(1,900円(送料込)+税)

地元大学生と意見交換 コロナ禍の就活振り返る

広島経済同友会

広島経済同友会ダイバーシティ委員会(川妻利絵委員長)は10月19日、広島修道大学、広島女学院大学、広島工業大学の4年生計8人とコロナ禍の就職活動などに関する意見交換会を広島商工会議所で開いた。

ウェブ合同説明会・面接が浸透したコロナ禍で、学生から「オンライン面接は自宅で受けられるので緊張せず良かった」や「移動時間・費用が節約でき、遠方を含め多くの企業の説明会を受けられた」などの感想が挙がった。一方、「魅力

が伝わりにくかった。企業内のオンラインツアーなどがあれば、その会社の姿が少しでも伝わるのではないか」、「OB、OG訪問で先輩の生の声を聞いて就職後の自分の姿を想像したかったが難しく、企業HPにある先輩のメッセージを重要視した」、「マスク越しやオンラインで自分の熱意が会社側に十分伝わっているのか不安を感じた」という。佐々木茂喜代表幹事は、

「地元企業は、学生とのより近い肌感覚の接点が重要と再認識した。コロナはダイバーシティやSDGsに本気で取り組むためのトリガーになった。今後も地元大学と情報交換を進めたい」